

経営の健全性の状況のうち流動性に係る健全性を判断するための基準に係る事項

本資料は、「銀行法施行規則（1982年大蔵省令第10号）第19条の2第1項第5号ホ等の規定に基づき、流動性に係る経営の健全性の状況について金融庁長官が別に定める事項（2015年2月27日付 金融庁告示第7号）」に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

■ 流動性リスクに関する開示事項

一 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

当行では、取締役会の審議機関の位置付けとして「ALM委員会」を設置し、流動性リスクの適切な把握・管理、リスク対応方針の協議等を行っております。ALM委員会での検討内容等は定例的に取締役会に報告されており、経営陣による流動性リスクの適切なコントロール態勢が構築されております。

流動性リスクの各所管部署においては、「流動性リスク管理規程」に定めている流動性リスクのモニタリング、評価方法に従い、日々、月次等のサイクルで流動性リスクを把握、分析し、毎月開催されるALM委員会に報告しており、流動性リスクに対し組織的に対応できる体制が整備されております。

なお当行連結子会社に係る流動性リスクについても、連結子会社の資金繰り状況を月次管理しており、連結子会社を含めたグループ全体として適正な資金流動性の確保に努めています。

二 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項

当行では、リスク水準を4段階（平常時、注意時、警戒時、緊急時）に区分し、リスク水準ごとに流動性維持目標額を設定し、リスク水準に応じた資金繰り管理を行っております。また、オーバーランス取引を含めた満期区分別の資金流入・資金流出の把握に努め、運用予定額、調達可能額など流動性の確保状況を日々で管理することにより、適切な資金繰りに努めています。加えて、資金量増減、為替決済戻、当行の株価等資金繰りに影響を及ぼすと想定される項目について日々でモニタリングを行っており、モニタリングの状況についてはALM委員会にて定期的に報告しております。

さらに、預金の流出、市場調達環境の悪化を想定したストレステストを実施しており、流動性リスク顕在時の対応策の検討に活用しております。

三 その他流動性に係るリスク管理に関する事項

当行では、外貨調達において、効率的・安定的な資金運用を行うために調達手段の多様化及び調達先の分散を図り、流動性リスクの削減に努めています。

また、流動性危機時には別に定める「風評等リスク対応計画および預金流出危機管理計画（コンティンジェンシープラン）」において資金繰り対応策を策定しております。

■ 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

定性的項目は原則、2022年度第4四半期を掲載しております。

一 時系列における流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

主に「適格流動資産の合計額」が増加したことなどから、連結流動性カバレッジ比率は前四半期比10.1ポイント上昇の132.5%、単体流動性カバレッジ比率は前四半期比10.5ポイント上昇の137.2%となりました。

また、当行の流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制水準を上回る水準で推移しております。

二 流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

当行の流動性カバレッジ比率は、連結、単体ともに規制水準を上回って推移しており、流動性リスク管理上問題ないと認識しております。

三 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産については、主に円貨建の国債や地方債などの有価証券及び日本銀行への預け金で構成されています。当該流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に、著しい変動はありません。

負債合計額の5%以上を占める通貨については円貨のみであり、算入可能適格流動資産と純資金流出額の間に著しい通貨のミスマッチはありません。

四 その他流動性カバレッジ比率に関する事項

「適格オペレーション預金に係る特例」及び「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用しておりません。

また、連結流動性カバレッジ比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社が保有する適格流動資産は零、また流動負債は全額資金流出するとみなして算出しております。

■ 安定調達比率に関する定性的開示事項

定性的項目は原則、2022年度第4四半期を掲載しております。

一 時系列における安定調達比率の変動に関する事項

主に、「所要安定調達額合計」が増加したことなどから、連結安定調達比率は前四半期比1.7ポイント低下の120.8%、また、単体安定調達比率は前四半期比1.8ポイント低下の122.8%となりました。

当行の安定調達比率は、2021年度第2四半期より算出を開始して以来、規制水準を上回る水準で推移しております。

二 流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たす場合はその事項

相互に関係する資産及び負債には、当行が仲介金融機関として資金を転貸する取引を計上しております。

また、計上した額は、流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たしております。

三 その他安定調達比率に関する事項

当行の安定調達比率は、利用可能安定調達額が所要安定調達額を上回っており、問題ない水準と認識しております。

また、連結安定調達比率の算出にあたり連結子会社の取扱いについて、当該子会社のすべての負債及び資本に係る額の利用可能安定調達算入率を0%、すべての資産に係る額の所要安定調達算入率を100%として算出しております。

■連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目	2022年度第4四半期		2022年度第3四半期	
適格流動資産				
1 適格流動資産の合計額	922,803		780,093	
資金流出額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	3,013,349	241,677	3,006,686	241,628
3 うち、安定預金の額	859,667	25,790	851,735	25,552
4 うち、準安定預金の額	2,153,682	215,887	2,154,951	216,076
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,103,039	504,256	1,041,888	468,510
6 うち、適格オペレーション預金の額	—	—	—	—
7 うち、適格オペレーション預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,087,436	488,652	1,027,839	454,462
8 うち、負債性有価証券の額	15,603	15,603	14,048	14,048
9 有担保資金調達等に係る資金流出額		—		—
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	828,484	138,271	844,505	145,337
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	77,988	77,988	84,291	84,291
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	750,495	60,282	760,214	61,046
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	48,721	48,162	31,614	30,871
15 偶発事象に係る資金流出額	6,112	175	5,226	134
16 資金流出合計額	932,542		886,483	
資金流入額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	216,122	117,829	202,610	114,345
19 その他資金流入額	122,770	118,711	137,853	135,038
20 資金流入合計額	338,893	236,541	340,463	249,383
連結流動性カバレッジ比率				
21 算入可能適格流動資産の合計額	922,803		780,093	
22 純資金流出額	696,001		637,099	
23 連結流動性カバレッジ比率	132.5		122.4	
24 平均値計算用データ数	60		62	

■ 単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目	2022年度第4四半期		2022年度第3四半期	
適格流動資産				
1 適格流動資産の合計額	922,803		780,093	
資金流出額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	3,013,349	241,677	3,006,686	241,628
3 うち、安定預金の額	859,667	25,790	851,735	25,552
4 うち、準安定預金の額	2,153,682	215,887	2,154,951	216,076
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	1,110,399	511,615	1,049,453	476,076
6 うち、適格オペレーション預金の額	—	—	—	—
7 うち、適格オペレーション預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	1,094,796	496,012	1,035,405	462,027
8 うち、負債性有価証券の額	15,603	15,603	14,048	14,048
9 有担保資金調達等に係る資金流出額	—		—	
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	825,101	140,594	841,744	147,974
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	77,988	77,988	84,291	84,291
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	747,112	62,605	757,453	63,683
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	21,492	20,934	5,054	4,311
15 偶発事象に係る資金流出額	6,112	175	5,226	134
16 資金流出合計額	914,997		870,125	
資金流入額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17 有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18 貸付金等の回収に係る資金流入額	222,234	123,941	207,896	119,631
19 その他資金流入額	122,773	118,713	137,856	135,041
20 資金流入合計額	345,007	242,655	345,752	254,672
単体流動性カバレッジ比率				
21 算入可能適格流動資産の合計額	922,803		780,093	
22 純資金流出額	672,341		615,453	
23 単体流動性カバレッジ比率	137.2		126.7	
24 平均値計算用データ数	60		62	

■ 連結安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		2022年度第4四半期				2022年度第3四半期					
		算入率考慮前金額		算入率 考慮後金額	算入率考慮前金額		算入率 考慮後金額				
		満期なし	6月末満		6月以上 1年未満	1年以上	満期なし	6月末満			
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	241,207	-	10,000	30,000	271,207	230,476	-	10,000	30,000	260,476
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	241,207	-	-	30,000	271,207	230,476	-	-	30,000	260,476
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	-	-	10,000	-	-	-	-	10,000	-	-
4	個人及び中小企業等からの資金調達	3,011,006	-	-	-	2,752,724	3,045,725	-	-	-	2,785,159
5	うち、安定預金等の額	856,386	-	-	-	813,567	880,137	-	-	-	836,130
6	うち、準安定預金等の額	2,154,619	-	-	-	1,939,157	2,165,588	-	-	-	1,949,029
7	ホールセール資金調達	865,645	515,106	97,047	226,461	851,906	894,634	403,245	98,724	113,276	698,537
8	うち、適格オペレーション預金の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	865,645	515,106	97,047	226,461	851,906	894,634	403,245	98,724	113,276	698,537
10	相互に関係する資産がある負債	-	-	-	183	-	-	-	-	201	-
11	その他の負債	79,710	12,686	-	706	-	83,688	8,990	-	-	-
12	うち、デリバティブ負債の額	/	/	/	706	/	/	/	/	/	/
13	うち、上記に含まれない負債の額	79,710	12,686	-	-	-	83,688	8,990	-	-	-
14	利用可能安定調達額合計					3,875,838					3,744,172
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	/	/	/	/	45,429	/	/	/	46,245	
16	金融機関等に預け入れているオペレーション預金に相当するものの額	3,279	-	-	-	1,639	3,382	-	-	-	1,691
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	215,704	489,280	195,477	2,925,222	2,871,951	208,293	495,724	199,795	2,775,079	2,723,592
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	うち、頂番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	5,165	13,840	14,727	354,288	367,698	8,942	21,047	15,166	269,282	287,282
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額（頂番18、19及び22に該当する額を除く。）	3,298	441,738	147,287	1,421,154	1,370,134	3,055	436,997	153,040	1,399,217	1,350,887
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	-	51,598	46,785	675,818	488,474	-	49,166	47,603	680,321	490,594
22	うち、住宅ローン債権	-	26,301	26,102	1,081,830	856,779	-	25,948	25,753	1,059,654	838,730
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	-	12,304	12,196	444,889	301,428	-	12,191	12,077	439,134	297,571
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	207,240	7,399	7,358	67,949	277,338	196,295	11,730	5,835	46,924	246,693
25	相互に関係する負債がある資産	-	-	-	183	-	-	-	-	201	-
26	その他の資産等	162,298	31,891	8,516	46,669	249,372	158,731	29,077	11,358	47,086	246,212
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	-	/	/	/	/	-	/	/	-	-
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（連結貸借対照表に計上されないものを含む。）	/	/	/	/	-	/	/	/	-	-
29	うち、デリバティブ資産の額	/	/	/	/	-	/	/	/	1,755	1,755
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減ずる前）の額	/	/	/	54	54	/	/	/	18	18
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	162,298	31,891	8,516	46,614	249,318	158,731	29,077	11,358	45,313	244,439
32	オフ・バランス取引	/	/	/	755,085	37,549	/	/	/	748,914	37,292
33	所要安定調達額合計	/	/	/	/	3,205,942	/	/	/		3,055,034
34	連結安定調達比率	/	/	/	/	120.8%	/	/	/		122.5%

■ 単体安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項目番号		2022年度第4四半期					2022年度第3四半期				
		算入率考慮前金額			算入率 考慮後金額	算入率考慮前金額			算入率 考慮後金額		
		満期なし	6月末満	6月以上 1年未満		1年以上	満期なし	6月末満	6月以上 1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額（1）											
1	資本の額	241,207	—	10,000	30,000	271,207	230,476	—	10,000	30,000	260,476
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本（基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。）に係る基礎項目の額	241,207	—	—	30,000	271,207	230,476	—	—	30,000	260,476
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	—	—	10,000	—	—	—	—	10,000	—	—
4	個人及び中小企業等からの資金調達	3,011,006	—	—	—	2,752,724	3,045,725	—	—	—	2,785,159
5	うち、安定預金等の額	856,386	—	—	—	813,567	880,137	—	—	—	836,130
6	うち、準安定預金等の額	2,154,619	—	—	—	1,939,157	2,165,588	—	—	—	1,949,029
7	ホールセール資金調達	874,172	515,111	97,052	226,461	852,694	901,976	403,255	98,724	113,276	699,183
8	うち、適格オペレーション預金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	874,172	515,111	97,052	226,461	852,694	901,976	403,255	98,724	113,276	699,183
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	183	—	—	—	—	—	201
11	その他の負債	37,974	12,686	—	706	—	41,170	8,990	—	—	—
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	706	—	—	—	—	—	—
13	うち、上記に含まれない負債の額	37,974	12,686	—	—	—	41,170	8,990	—	—	—
14	利用可能安定調達額合計				3,876,626						3,744,818
所要安定調達額（2）											
15	流動資産の額				45,429						46,245
16	金融機関等に預け入れているオペレーション預金に相当するものの額	3,279	—	—	—	1,639	3,382	—	—	—	1,691
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	220,290	497,630	197,827	2,933,972	2,887,715	213,062	502,974	202,045	2,783,229	2,738,724
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	5,716	22,190	17,077	363,038	379,426	9,675	28,297	17,416	277,432	298,377
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額（項番18、19及び22に該当する額を除く。）	3,298	441,738	147,287	1,421,154	1,370,134	3,055	436,997	153,040	1,399,217	1,350,887
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	51,598	46,785	675,818	488,474	—	49,166	47,603	680,321	490,594
22	うち、住宅ローン債権	—	26,301	26,102	1,081,830	856,779	—	25,948	25,753	1,059,654	838,730
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	—	12,304	12,196	444,889	301,428	—	12,191	12,077	439,134	297,571
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	211,276	7,399	7,358	67,949	281,374	200,331	11,730	5,835	46,924	250,728
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	183	—	—	—	—	—	201
26	その他の資産等	95,987	31,891	8,516	47,169	183,563	92,378	29,077	11,358	47,614	180,386
27	うち、現物決済されるコモディティ（金を含む。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金（貸借対照表に計上されないものを含む。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	—	—	—	—	—	1,755	1,755
30	うち、デリバティブ負債（変動証拠金の対価の額を減ずる前）の額	—	—	—	54	54	—	—	—	18	18
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	95,987	31,891	8,516	47,115	183,508	92,378	29,077	11,358	45,840	178,612
32	オフ・バランス取引	—	—	—	751,459	37,368	—	—	—	745,867	37,139
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	3,155,715	—	—	—	—	3,004,187
34	単体安定調達比率	—	—	—	—	122.8%	—	—	—	—	124.6%